



栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和4年度 1月号
令和5年1月10日

新しい年を迎えて

校長 大井 敏彰

【本年もよろしくお祈いします！】

新しい年を迎えました。各ご家庭では、穏やかで清々しい新年を迎えられたことと思います。未だに新型コロナウイルスの収束は見られませんが、昨年は世の中の規制が徐々に緩和され、本校でも運動会や音楽発表会などの取組をとおして、くりっこの活躍や成長をたくさん発信することができました。今年も子供たち一人一人の力をしっかりと伸ばしていけるよう、教職員一丸となって努めてまいります。令和5年も、どうぞよろしくお祈いいたします。



【R5.1.1 初日の出と荒川沿いに広がる雲海】

【持久走大会に向けて！】

今年度は3年ぶりに持久走大会を実施いたします。保護者の皆様には、当日までのお子さんの健康観察や当日の見守りなど、ご協力いただくこととなりますが、よろしくお祈いいたします。

12月16日の業間休みに第1回目の持久走練習があり、私も一緒に参加しました。そこでおやっと思ふことがありました。「5分間止まらずに走ることがねらいです。」と体育主任が指示を出した後、子供たちが一斉に走り始めました。皆勢いよく走り出したものの、最後まで走り続けることができず途中で歩いてしまう子が何人も見られました。練習なので、無理矢理走らせることはしませんが、「持久走(マラソン)」とはどんな運動なのか理解できていない子が多いのではないかと感じました。

「持久走」は、小学校の学習指導要領では「体づくり運動」に位置づけられ「無理のない速さでかけ足を○～○分続けること」と示されています。毎年春に実施される体

力テストの結果から見ると、栗原小の子供たちは平均して体力があります。縦割り活動や学級レクで鬼ごっこを行うと、どの学年の子もめいっぱい走ることができます。しかし、持久走練習の様子から考えると、「無理のない速さで～続けること」つまり、距離や時間などの目標に対して無理のない速さを自分で考えて走ろうとすること、疲れてきても粘り強く走り続けること、に課題があるように感じます。まだ、練習を始めたばかりなので、持久走の目標を踏まえつつ、誰もが最後まで走りきることができるよう、これから取り組んでまいります。

【GRIT～やり抜く力～】

昨今、アメリカ人のアンジェラ・ダッグワース氏が提唱する「GRIT～やり抜く力～」という考え方が注目されています。この力は、「情熱」×「粘り強さ」で定義付けられています。「情熱」の意味は「一生懸命頑張ること」ではなく、「一つのことに専念すること」とされていることから、「やり抜く力」は「一つのことに粘り強く取り組むこと」を意味します。この「やり抜く力」は、個人が持つ高い才能や能力を上回り、将来の成功に大きく影響する力であるとともに、子供たちが成長する過程において伸ばしたり鍛えたりすることができる力として、大変注目されています。

持久走の話に戻りますが、本校でも持久走大会に向けた取組をとおして、体力や持久力など運動能力を伸ばすだけでなく、一つのことに粘り強く取り組む態度(＝「やり抜く力」)を伸ばしていきたいと思ひます。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～

【航空写真を撮影します】

開校45周年を迎える節目の年に、「子供たちのために何か記念になることはできないか」との声をいただき、航空写真を撮影することになりました。日程は1月30日を予定しています。(天候等の都合により、日程が繰り下がる可能性があります。)